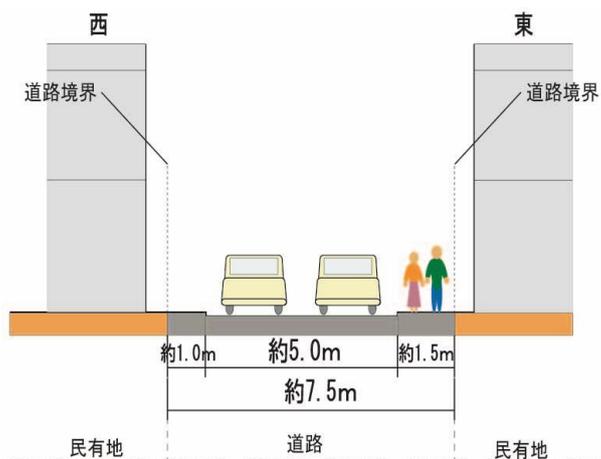


②市道 4-139 号（高安寺西側の道路）の歩行空間の改善

- この道路は第 3 小学校の通学路となっており、朝夕児童の往来が多い状況にあります。しかしながら、歩道の幅員が約 1～1.5m と狭く、道路に向かって傾斜している部分もあります。
- 坂道でかつカーブして見通しが悪い道路形状であることから、踏切付近で事故が起こったこともあり、改善が必要です。
- 沿道の用地買収による道路拡幅、または歩道を片側に集約するなどにより、自転車と歩行者がすれ違えるような幅員の歩道を確保することが必要です。また、市道 4-139 号線の一方通行化についても検討が必要です。
- 歩道を片側に集約する場合は、安全性の確保の観点から、沿道に住宅が立ち並んでいる西側に寄せた方が良く考えます。
- また、歩道と車道の段差をなくし、歩行者や自転車、自動車が共存できる道路のあり方の検討が必要です。

■現状 市道 4-139 号



歩道の幅員が狭く、車道に向かって傾斜している

現状の市道 4-139 号の断面

■事例 歩行者、自転車、自動車が共存する道路（バリアフリー化整備）



バリアフリー化整備事例
(市道 4-159 号)



バリアフリー化整備事例
(市道 4-50 号 大國魂神社西側の道路)

②歴史的資源と調和した景観形成

- 高安寺などの歴史的景観を保全するとともに、これらの歴史的景観と調和した住宅地の景観形成を進めます。
- 駅舎の改良、南北動線や東西動線の整備などの駅周辺の再整備を行う際には、府中崖線の自然や歴史、眺望を生かしたものとすることが望まれます。

■手法 府中市景観ガイドライン（歴史的建築物編）

- ・府中市景観ガイドライン（歴史的建築物編）では、高安寺や旧甲州街道などの歴史的建造物等の周辺において、次のようなデザイン指針が示されています。

<デザイン指針>

- ・建物の高さ：歴史的景観資源からの眺望を阻害しないよう建物の高さを抑える。
- ・形態・意匠：過度な装飾は避け、歴史的風情・環境と調和した色彩・意匠とする。
- ・素材：時間の経過により風格が生まれる素材とする。
- ・色彩：落ち着いた色彩となるようにする
- ・既存の生け垣や樹木の保存、など



歴史的風情・環境と調和した建築物の例
（府中市景観ガイドライン 歴史的建築物編より）



旧甲州街道沿いの屋敷林の景観（現況）

3. 今後のまちづくりの推進に向けて

最後に、今後のまちづくりの推進に向けて、以下の事項を提案します。

①関係者の権利等を尊重したまちづくり

- 今後、具体的なまちづくりを進めるにあたっては、関係する土地・建物所有者、居住者、商業者等の権利を十分尊重し、その方々の合意を得て進めていただきたい。
- まちづくりを進めるにあたっては、景観条例や福祉のまちづくり条例、地域まちづくり条例、商店街の活性化に関する条例等の関係法令を遵守していただきたい。

②戦略的視点を持った取組み

- まちづくりの提案事項は多岐に及びますが、戦略的視点を持ち、駅周辺の安全性や利便性の確保に向けて、駅舎の改良・駅前広場の確保・東西動線の確保・南北の繋がり強化について、重点的に取り組んでいただきたい。
- スピード感を持って進めるために、駅前広場等の区域の土地・建物所有者等に提供する代替地の早期確保を進めていただきたい。

③行政のたたき台の必要性

- 今後のまちづくりの検討にあたっては、具体的な事業手法等を踏まえ、市にたたき台を示してもらい、協議会ではそれを議論するという方式で進めていきたい。

④関係機関との十分な協議と協議会への情報提供

- 今後も駅舎改良等について鉄道事業者や関係機関との協議を鋭意進め、可能なタイミングで情報提供していただきたい。